

1. 科目名 (単位数)	韓国の文化と言語Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	GECM1316
2. 授業担当教員	橋本 琢		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	春期のテキストを継続して使用するため、「韓国の文化と言語Ⅰ」を受講していることが望ましい。		
7. 講義概要	韓国の文化と言語Ⅰでは言語を中心に講義を行なったが、Ⅱでは言語と文化両方を学習する。言語については基本的な挨拶から日常会話をはじめ、漢数詞、固有数詞などを応用し、会話を深める。文化については一般的な理論講義と共にビデオや現地見学(コリアタウン、高麗神社)などを併行して講義を行ない、より深い韓国文化の理解を高めることも目的とする。したがって、本授業は基本的なハングル文字を理解し、韓国の文化に興味を持っている学生が授業の対象として望ましい。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハングルの文字と単語を覚える 2. 基本的な日常会話ができるように学習する 3. 現代の韓国社会の政治・経済・社会・文化などについて理解する。 4. 韓国の伝統文化・名節について理解する。 5. 韓国の歴史や世界遺産などについて理解する。 6. 韓国の文化を直接的に体験し、より深い文化を理解する。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人レポート：授業で紹介された韓国の文化の一つを選び、日本との相違点や類似点について日本語でまとめる 2. 学習してきた韓国語の基礎的な文法事項を使い、日本文化に関する簡単な説明文を、日本語と韓国語で作成する 3. 「韓国の文化と言語Ⅰ」で作成した韓国語の自己紹介に加え、状況設定に応じた韓国語での会話のロールプレイを作成し発表する 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 李志暎『新装版 できる韓国語 初級Ⅰ』アスク出版、2010。</p> <p>【参考書】 小倉紀蔵『韓国は一個の哲学である <理>と<気>の社会システム』講談社学術文庫、2011。 金慶珠『歪みの国・韓国』祥伝社新書、2013。 金成玟『K-POP 新感覚のメディア』岩波新書、2018。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介と簡単な会話ができるのか 2. 韓国の文化について理解し、日本と比べ類似点や相違点について理解されているのか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニテスト及び授業への参加度(発表など)：40% 2. 課題レポート及び予習ノート：20% 3. 総括テスト：40% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加することや発音などの練習のときは大きな声を出す。 2) 韓国語の学習と並行して韓国文化についての紹介、解説を各講義時に適宜してゆく。 3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をする。 4) 授業中は私語、居眠りまた途中入出をしない(正当な理由以外は減点の対象になる)。 5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守する。 6) 韓国文化に関するグループ討議や会話のロールプレイには、メンバー全員が積極的に参加し、また他人の発表はきちんと傾聴する。 7) 「総括テスト」として学習内容の定着度を判断する試験を実施する。 		
13. オフィスアワー	授業中に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明及び、第三課、それはなんですか。①	事前学習	第三課(pp. 50~52)の例文を音読しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する
第2回	第三課、それはなんですか。②	事前学習	第三課(pp. 50~55)の例文を音読し、「応用練習」と「書いてみましょう」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「書いてみましょう」を復習する
第3回	第四課、約束があります。①	事前学習	第四課(pp. 56~58)の例文を音読しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する
第4回	第四課、約束があります。②	事前学習	第四課(pp. 56~61)の例文を音読し、「応用練習」と「話してみましょう」に解答を記入しておく

		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する
第5回	第五課、会社はどこにありますか。①	事前学習	第五課 (pp. 62～64) の例文を音読しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本文型練習」を復習する
第6回	第五課、会社はどこにありますか。②	事前学習	第五課 (pp. 62～66) の例文を音読し、「応用練習」と「聴いてみましよう」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「聴いてみましよう」を復習する
第7回	第1課から第5課までの復習	事前学習	pp. 67 の Review を音読し、解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、単語を覚える
第8回	第六課、週末は何をしますか。①	事前学習	第六課 (p. 68～70) の例文を音読しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本文型練習」を復習する
第9回	第六課、週末は何をしますか。②	事前学習	第六課 (pp. 68～73) の例文を音読し、「応用練習」「話してみましよう」「書いてみましよう」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」「話してみましよう」「書いてみましよう」を復習する
第10回	第七課、そんなに遠くありません。①	事前学習	第七課 (pp. 74～76) の例文を音読しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本文型練習」を復習する
第11回	第七課、そんなに遠くありません。②	事前学習	第七課 (pp. 74～79) の例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する
第12回	第八課、いつきますか。①	事前学習	第八課 (pp. 80～83) の例文を音読しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「基本文型練習」を復習する
第13回	第八課、いつきますか。②	事前学習	第八課 (pp. 80～85) の例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する
第14回	韓国語による日本文化の紹介	事前学習	自分が韓国人に紹介したい日本文化をひとつ決め、その紹介文を 1000 字程度の日本語で作成しておく
		事後学習	韓国語で作成した日本文化の紹介文を覚える
第15回	全体のまとめ	事前学習	今後、韓国とどのような関わり合いを持ちたいか考えておく
		事後学習	他の履修者の意見も参考にして、今後の韓国との関わり合いについて考えを深める